

2022年度年末手当交渉

JR貨物労組

「1.62カ月」妥結！

JR貨物労組は、年末手当第3回交渉で会社が示した「2020年度年末手当(1.6カ月)の状況より厳しい」という姿勢に対して、「組合員は、災害対応や臨時列車の運行など一生懸命担ってきた。会社は組合員の苦勞と期待に応えるべき」「近年、若年者のみならず退職が相次いでいる。人材を流出させないためにも、期末手当をはじめ賃金改善が必要」と訴えてきました。

さらに、全国統一職場集会や座談会などで組合員を結集し、現状認識の一致を図り、職場からの取り組みを通じて、中央本部の年末手当交渉を支えた結果、会社の頑なな姿勢を打ち崩し、11月18日の第4回交渉で、年末手当「1.62カ月」を引き出すと共に、会社は立てた計画に責任をもって達成に全力を挙げることを。新型コロナウイルス感染症予防対策として、引き続き最大限の対応を実施すること。老朽設備や女性設備の改善など、早急に職場環境を整えることなどを確認し、妥結に至りました。